



平成 29 年 4 月 25 日

各 位

会 社 名 株式会社 ビジネス・ブレイクスルー
代表者名 代表取締役社長 大前 研一
(コード番号 2464 東証第一部)
問合せ先 取締役 徳永 裕司
(TEL. 03-5860-5530)

業績予想の修正及び特別利益・特別損失の計上に関するお知らせ

最近の業績の動向を踏まえ、平成 29 年 2 月 3 日に公表した平成 29 年 3 月期の連結業績予想について下記のとおり修正いたしましたのでお知らせいたします。

記

1. 平成 29 年 3 月期 通期連結業績予想数値の修正(平成 28 年 4 月 1 日～平成 29 年 3 月 31 日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想 (A)	5,023	400	405	317	22.25
今回修正予想 (B)	4,921	336	346	206	14.51
増減額 (B-A)	△102	△63	△59	△110	—
増減率 (%)	△2.0	△15.9	△14.7	△34.8	—
[ご参考]前期実績	4,455	332	339	270	21.52
前期比増減率 (%)	10.4	1.3	1.9	△23.5	—

2. 修正の理由

平成 29 年 3 月期の売上高につきましては、前期第 3 四半期において「サマーヒルインターナショナルスクール」を運営する Summerhill International(株)が当社グループに加わり、幼児教育拠点を新設するなど前期を上回る水準で推移いたしました。しかしながら、ビジネス・ブレイクスルー大学経営学部の秋期入学者数が軟調となり前期を下回ったほか、主要教育プログラムについて全面的なリニューアルを実施しておりましたが、リニューアル完了、再開講が計画より遅れたことなどから、前回予想を下回る見込みであります。利益面につきましても、前述のとおり売上増加要因があり前期を上回る水準で推移いたしました。また、第 4 四半期において保養所施設の売却による売却益として特別利益 38 百万円を計上し、研修施設建設用地取得に伴う払込金について当初建設計画からの見直しによる再評価を行った結果、評価損として特別損失 42 百万円を計上することから、親会社株主に帰属する当期純利益は前回予想を下回る見込みであります。

以 上

(注) 上記の予想は現時点において入手可能な情報に基づき算出したものであり、多分に不確定な要素を含んでおります。実際の業績等は、今後の様々な要因により上記予想数値と異なる場合があります。